

平成 20 年 1 月 29 日

県 内 景 況

株式会社 鹿 児 島 銀 行

株式会社 鹿児島地域経済研究所

最近の県内景況は、生産活動が一進一退で、個人消費も盛り上がりを欠くなど、全体では停滞感を強めている。

生産活動は、電子部品関連の一部が弱含んでおり、飲食料品も伸び悩んでいる。個人消費関連は、百貨店売上げやスーパー売上げ、新車販売ともに盛り上がりを欠く。投資関連では、民間建築工事や住宅着工、公共工事がともに低調。その間、観光入り込み客数は僅かながら前年を上回った。

【生産活動】 ... 一進一退

電子部品関連は、IC 生産が回復基調にある。一方、PDP（プラズマ・ディスプレイ・パネル）やカラーLCD（液晶ディスプレイ）は競争激化により伸び悩んでいる。

12 月の**生コン**生産は、10 か月連続で前年を下回った。

12 月の**紙パルプ**生産は、前年比 1.3% 増となった。

木材関係は、住宅着工戸数が減少しているため、低調に推移している。

大島紬生産は、減反基調にある。

焼酎は、生産および出荷の増勢テンポこそ鈍化しているものの、引続き高水準で推移している。

かつお節生産は、原料かつおの水揚げが好調なことから、増加基調にある。

【畜産関連】... 堅調

肉用牛（和牛）の枝肉相場および子牛価格は高値圏で推移。豚肉及びブロイラー相場は、堅調に推移している。また、鶏卵相場は供給増により、前年を下回る水準で推移している。

【消費関連】... 盛り上がりを欠く

11月の百貨店売上げは、衣料品の動きが鈍く、前年比4.7%減と3か月連続で前年を下回った。11月のスーパー売上げは、大型商業施設開業により2.9%増と2か月連続で前年を上回った。12月の大型小売店販売は、底堅く推移。

12月の乗用車新車販売台数は、9.5%減と3か月ぶりに前年を下回った。車種別にみると、普通車は0.8%減と前年並みにとどまったが、小型車が14.4%減となった。一方、軽自動車は14.9%減と3か月連続の前年割れとなった。

【観光関連】... 横ばい

12月の離島を除く主要ホテル・旅館の宿泊客数は、前年比1.4%増と僅かながら前年を上回った。地区別にみると、7か月ぶりにマイナスに転じた鹿児島地区以外は前年を上回った。一方、種子島・屋久島地区は前年を下回った。この間の主要観光施設入場者数は、ほぼ前年を上回り、堅調に推移した。

【投資関連】... 低調

12月の公共工事は、件数、請負金額ともに前年を下回った。

11月の民間建築工事は、棟数は前年を上回ったものの、床面積と工事費は前年を下回った。

11月の新設住宅着工戸数は、前年比7.4%減となった。利用関係別では、持家、貸家、分譲がそれぞれ5.2%、5.1%、25.5%の減少となった。

12月の主要**建設資材**卸売業者の売上げは、前年比17.1%減となった。

【貿易関連】...輸出が6か月連続前年割れ

11月の**輸出額**は、半導体等電子部品や液晶表示板等の科学光学機器が前年を下回ったことから、全体では32.6%減と6か月連続で前年を下回った。**輸入**は原油及び粗油や穀物及び同調整品が前年を上回ったことから、68.3%増と2か月連続で前年を上回った。

【雇用情勢】...足踏み

11月の有効求人倍率は、前月を0.03ポイント下回る0.58倍となり、雇用情勢は足踏みしている。

【金融情勢】...堅調

資金需要は、企業の設備資金、運転資金ともに堅調に推移している。

【企業倒産】...倒産件数が増加

12月の**企業倒産**は、件数は12件と前年同月(11件)を上回ったものの、負債額は12億3,800万円と前年同月(52億100万円)を下回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)鹿児島地域経済研究所 (099-225-7491)